

むかしのくらしをたいけんしよう!

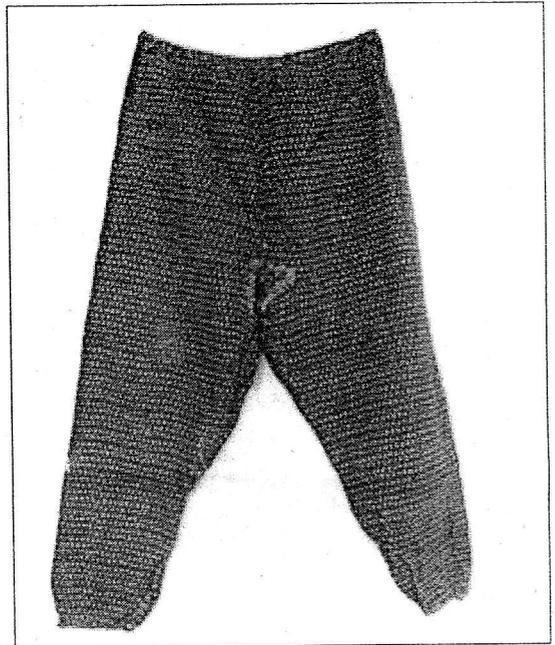
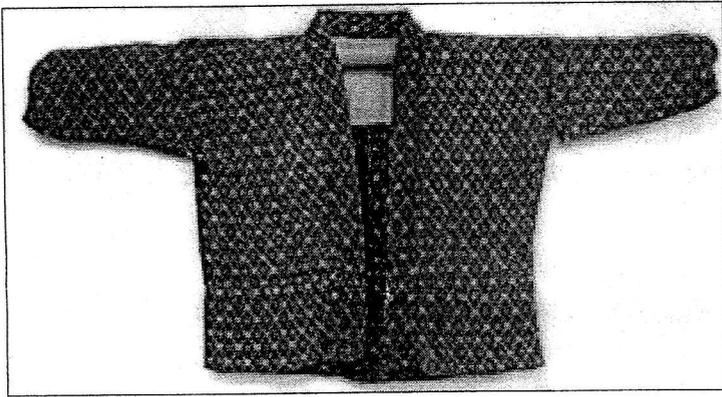
アタから糸をつむごう

尼崎市立文化財収蔵庫 体験学習室

資料編集: 尼崎市教育委員会 歴博・文化財担当

むかしの人はどうなぶくをきていたのかな?

むかしの人がきていたぶくをかんさつしよう。



きがついたことをかきましょう。

.....

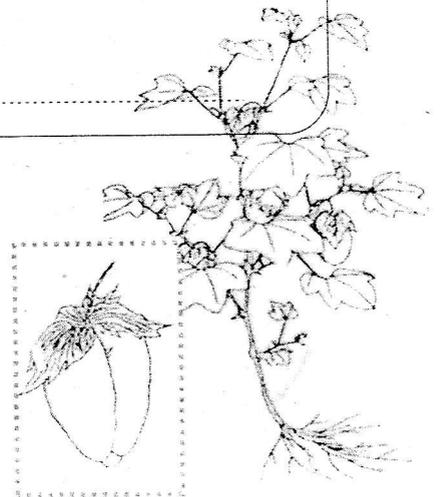
.....

どんなときにきたのでしょうか?

.....

なにからつくられているのでしょうか?

.....



《わた》からふくができるまで

むかしの人のふくはほとんどが《わた》というしょくぶつから作られています。

《わた》のたねはふわふわしたわた毛につつまれています。このわた毛から糸をつむいで、糸できれをおります。きれをぬってふくを作ります。

むかし、ふくを作るためには・・・



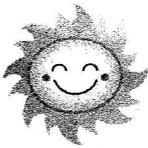
5月

《わた》のたねをまく。



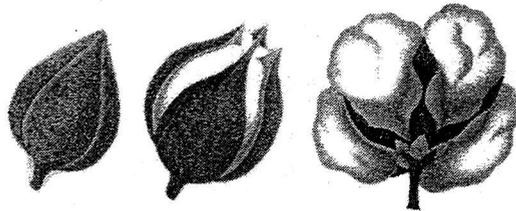
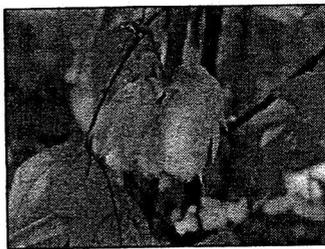
7月～8月

花がさいて実がつく。



9月～10月

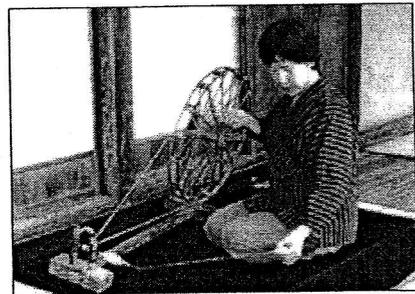
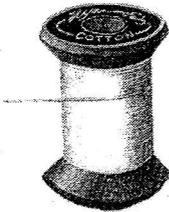
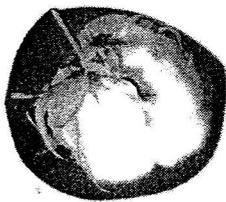
大きくなった実がわれて、わた毛がとび出す。
とび出したわた毛をしゅうかくする《わたつみ》をします。



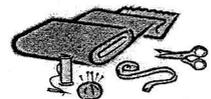
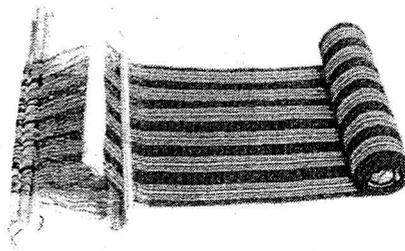
あき ふゆ
秋～冬



《わた》から《もめん糸》をつむぎます。



はたおりをして《もめん糸》から《もめん》というきれをおります。



《もめん》のきれをぬってふく（きもの）を作ります。

《わた》から糸をつむごう

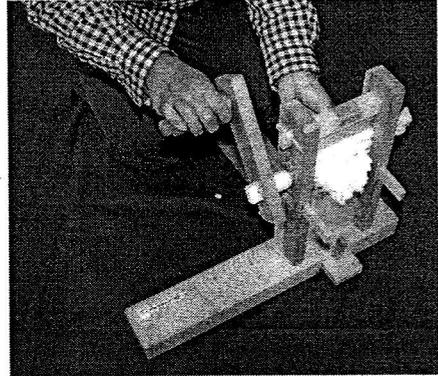
たいけん1 《わたくり》をしよう！

わたの^み実からたねをとりぞくことを《わたくり》といいます。
むかしのどうぐ「わたくりき」をつかってたねをとりましょう。

《わたくり》のかんそう

.....

.....



ちゅうい

^{そと}外がわのねじにゆびやかみの^け毛をはさまないように！
みんなでつかうどうぐです。ていねいにつかいましょう。

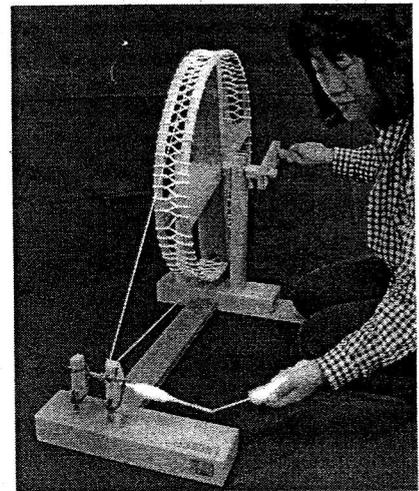
たいけん2 《糸つむぎ》をしよう！

「つむぎぐるま」をつかって^{いと}糸をつむぎましょう。

《糸つむぎ》のかんそう

.....

.....



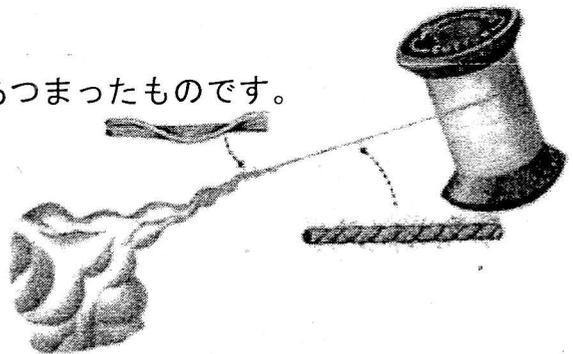
☆わた^げ毛からなぜ糸ができるのでしょうか？

わた^げ毛はとてもほそい^{いと}糸のもと「せんい」があつまったものです。

わた^みの実がわれてわた^げ毛が外にとび出してかわくと、「せんい」はちじれてしまいます。わた^げ毛をひっぱると「せんい」がからみあって、

糸^{いと}のようにつながってきます。ゆるくつなが

っている糸^{いと}を^{おな}同じむきにねじるとじょうぶな^{いと}糸ができます。^{おな}同じむきにねじることを「より」かけるといいます。「より」をかけて糸^{いと}にすることを、「つむぐ」といいます。

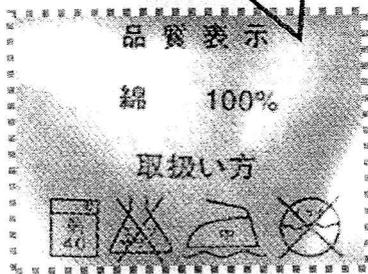


《わた》から作られたものをさがそう

今でも《わた》や《わた》から作られた《もめん》はたくさんつかわれています。みなさんがみのまわりでつかっているものから、《わた》や《もめん》で作られたものをさがしましょう。

ヒント！

ふくには、なにか
ら作られているか
をしめすタグがつ
いています。



★ 《わた》のままつかわれているもの

★ 《わた》から作られたきれ《もめん》でできているもの

なぜ、今でも《わた》や《もめん》がつかわれているのでしょうか？ 《わた》のよいところをさがしてください。

尾崎でそだてていた《わた》

むかしの人も、そして今でもつかわれている《わた》や《もめん》。むかしは尾崎でも《わた》をたくさんそだてていました。今から100年前までは、尾崎にわたばたけがひろがっていました。なかでも、いな川やも川、むこ川などの川のちかくや海にちかいところには、わたばたけがたくさんあったのです。

小学校 年 くみ なまえ